

- 1 主題名 れいぎ正しく
- 2 教材名 「小さなできごと」〈出典：光文書院〉
- 3 主題構成表

<p>■ 内容項目 B 礼儀</p> <p>気持ちのよい挨拶、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接すること。(第1・2学年)</p> <p>礼儀の大切さを知り、誰に対しても真心をもって接すること。(第3・4学年)</p>	<p>■ 内容項目から見た児童の実態(意識)</p> <p>A挨拶や返事などを明るくすることができるが、習慣として身に付いていない。</p> <p>B礼儀正しくすることは大切だと理解している。しかし、相手の気持ちを考えることが難しいため、相手に伝わらない。</p> <p>C礼儀正しく過ごし、相手の気持ちを考えようとすることができる。しかし、誰に対してもできているわけではない。</p> <p>■ 意識の要因</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師や大人に褒められたために礼儀正しくしている。 ・発達段階が異なり、相手の気持ちを理解することがまだ難しい。 ・礼儀を年齢の上下で捉える傾向がある。 	<p>■ 教材の分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乗っていたバスが不意に止まって、手すりをつかんでいなかった主人公は、見ず知らずのおばさんの足を踏んでしまう。おばさんに謝るか、黙ったままでいるか迷ったが、相手のことを考え、勇気を出して謝ることができたという話である。 ・主人公の視点から、わざとではなくても、人に迷惑をかけてしまったときの心の迷いや葛藤に共感することができる。また、母親の言葉やおばさんの表情から、礼儀正しく行動することを選んだ主人公の価値に気付くことができる。 ・「どんなことに気を付けて謝るとよいか」「それはどうしてか」などと問うことで、礼儀とは相手を思いやる気持ちから生まれる行動であることに気付かせることができる。
---	---	--

ねらい

迷惑をかけてしまった相手に謝る主人公の思いや、迷惑をかけられたおばさんの気持ちを考える活動を通して、心を形に表して伝えると、誰もがよい気持ちになることに気づき、礼儀正しく生活をしていこうとする意欲を育てる。

■ 研究内容に関わって

〈Ⅱ-②多面的・多角的な考えや多様な感じ方を引き出し、人間理解、他者理解、価値理解、自己理解を促す発問の工夫と精選〉

主人公の行動の価値に迫らせるため、対教師の役割演技を行う中で「どんなことに気を付けて謝ったのか」を問う。また、「どうして気を付けたのか」と問うことで、礼儀の一つである「謝る」という行為の価値を理解できるようにする。

〈Ⅱ-③自己の生き方について、考えを深める展開後段・終末の工夫〉

役割演技を通して、礼儀正しくすると誰もがよい気持ちになることに気付かせる。その上で児童の写真を使い、礼儀正しくできたことに焦点を絞って振り返りを行い、これからの実践意欲を高められるようにする。

4 学習指導過程

避 離	学習内容と主な発問	留意点・支援	期待する反応	期待する反応	期待する反応
			A 話の内容理解することが難しい。	B 多面的な考え方をすることが難しい。	C 自分の思いを言葉にすることに時間がかかる。
導 入	<p>1 礼儀正しくするとどのようなことか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 ・丁寧な言葉遣いをする。 ・目を見て話す。 <p>2 課題を把握する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>れいぎただしくすると、どんなよいことがあるのかな。</p> </div> <p>○資料を範読する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・場面の絵を黒板に貼りながら、あらすじを知らせる。 ・紙芝居を使って話の内容に浸らせる。 ・おばさんの表情や私の心の中を視覚化する。 ・下を向いた理由を考える活動を通して、私の気持ちに共感させる。(人間理解) 	<ul style="list-style-type: none"> ・話の内容を大まかに理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話の内容を理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話の内容を理解することができる。
展 開 前 段	<p>3 資料「小さなできごと」を読んで話し合う。</p> <p>○おばさんの足を踏んでしまったときに、私が下を向いてしまったのはどうしてかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・怒られると思った。 ・おばさんの顔が怖い。 ・悪いとは思っているけど、恥ずかしい。 ・黙っていれば分からないかも。 <p>◎私はどのように謝ったのかな。やってみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ごめんなさい。」と言う。 ・「踏んでしまってごめんなさい。」と謝る。 ・相手の目を見て話す。 ・礼をした方が気持ちが伝わる。 <p>○どうしてわたしは、すっきりした気持ちになったのかな</p> <ul style="list-style-type: none"> ・礼儀正しく謝れたから。 ・気持ちが伝わったから。 ・勇気を出して謝ることができたから。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>れいぎただしくすると、じぶんのきもちがつつわり、みんなよいきもちになる。</p> </div>				
展 開 後 段	<p>4 自分とつなげる</p> <p>○今日の学習では、礼儀正しくすることのよさについて学習しましたね。写真を見て、自分のことを振り返りましょう。</p>				
終 末	<p>5 教師の説話を聞く。</p>				